

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) について

令和1年12月31日中国武漢の発症から全世界的に感染が広がり、令和2年4月9日時点で全世界の感染者数が1470740人となっています。日本でも4846人が感染し、それまで全国で1日当たり30～60名であった感染者数も4月に入ってから100～200名と、増加の傾向が止まることがなく、4月9日の発生者は1日で535人の報告がされています。**栃木県内でも4月9日現在の感染者が31人となっています。全国的にみると透析を受けている方も、すでに発症しているとの情報もあります。**

4月7日国が緊急事態宣言を発令し、東京都も緊急事態措置を発令しました。不要不急の外出を控えるよう言い続けていますが、緊急事態宣言・措置が出た後も、帰省する人、夜の飲食の場へ行く人がまだまだ後を絶たないのが現状のようです。

自分だけは大丈夫との思いがあるのかもしれませんが、新型コロナウイルスは感染しても無症状の人もいますし、サイレントキャリアとなってウイルスを運んでしまう可能性もあります。私は、「絶対大丈夫」と言える保証がないのです。透析患者さんにとってはますます感染リスクが高まっていると言えるのではないのでしょうか。

透析患者さんが感染しないために、もう一度考えてみましょう。

○ウイルスのことを知る

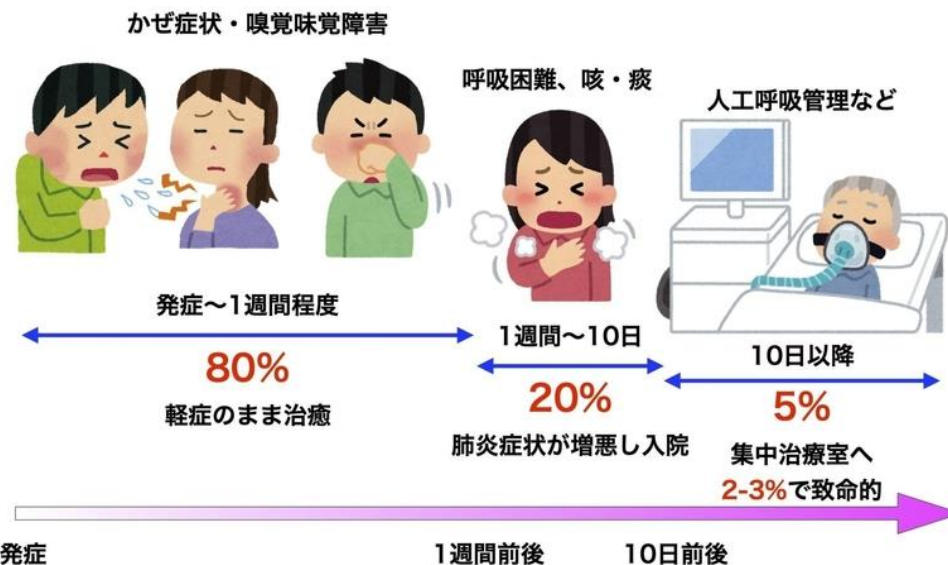
これまでに人に感染する「コロナウイルス」は7種類みつかっており、その中の一つが「新型コロナウイルス (SARS-CoV2)」です。

罹患すると無症状で経過することもあります。高齢者や基礎疾患（透析、高血圧、糖尿病、喘息等）を持つ方は重症化しやすいと言われています。致死率は季節性インフルエンザが0.1%程度に対して、新型コロナウイルスは日本で2.3%、全世界では5.5%と統計上の数値

が出ています。感染力と致死率の面でも、今までにないウイルスと考え、対策を講じていく必要があります。

○新型コロナウイルスに感染した時の症状を知る

- 発熱
 - 風邪症状（咳、痰、のどの痛み、頭痛、悪寒など）
 - 倦怠感
 - 息切れ
 - 臭覚・味覚障害
 - 下痢
- などがあります。感染時期によって現れる症状が変化していきます。



参考文献 忽那賢志 感染症専門医作成記事より

透析前に窓口で体調を確認させていただいています。

「このくらい大丈夫だろう」とは思わず、当てはまる症状があった場合、窓口担当者にお申し出ください。また、透析日以外に症状が見られた場合は、お電話で早めにご連絡下さい。